団体名: 豊田商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる	事業評価																		
<b>予</b> 未行			対象者	目 標①			目 標②				得られた効果		ABC				<u></u>		今後の展開・改善点領		備考	
巡回·窓口相談 指導事業		経営指導員9名が担当地区を決めて計画的に巡回する。 ・巡回窓口指導実企業数 1,116社(内非会員124社) ・巡回窓口指導延件数 1,848社(内非会員157社) ・課題解決提案件数 92件 個別相談の指導案件の内、 未解決案件を7れーアップでする。		指標		口指導延件数		指標	() + + + · · · · · · · · · · · · · · · ·			エリア別に地域内小規模 事者の担当者を決め、効 率化を図り計画的に巡回	ı		事実	自己評価	事	満足度	補足		国等の各種補助事 業と当所の実施事 業をタイムリーに	
			┃ ┃小規模事業者		(達成度 102.7 %)				(達成度 102.2 %)		2 %)	■ を実施することにより、 ■ 事業者のニーズを的確に	合	A	業施	A	一結業者を	Α	_	両方現状維持 	発信するための計 画的な相談実施と	
				目標 数値		実績 数値 1,8		目標 数値	90	実統数値	責 92	1	八篇	ı	評側価の	目標達成度 A	黒った。	必要性 A	-	実施方法	年間巡回計画に基 づく活動の強化を 図る。	
	  小規模事業者の税務申告等	・経営革新承認件数 1件 記帳指導職員11名を設置し			指	  導日数	-	_					-			自己評価	±	 満足度	補足	目標	納税知識の重要性を訪	
	の事務手続きを支援し、健 全な記帳事務と適正な申告 納税指導を実施する。	て指導体制を充実。 ・指導対象者数 357人 ・指導延日数 2,411日 ・指導延回数 6,210回		指標		101 %)	拮	指標	(達成度			に、消費税制改正等に対し、迅速な対処と的確な	総合		事実施評価の	A	調業	A	Imac		明し、日々の記帳や決算・確定申告事務等の	
記帳継続指導				目標	2, 387	実績 2,4	111 E	目標	5, 680	実約		支援が実施できた。	合評価	^		目標達成度	登結への	必要性		実施方法	相談、支援を実施し継続的に健全経営のサポートを行っていく。	
	中小企業、小規模事業者の経営支援	集団:理容、美容、経営革新計画作成		数値		数	妥	数値	-	数值	旦	     業種別の集団講習会、税				A	0)	Α – .		現行どおり	「理容・美容」 <i>0</i>	D
	を目的に事業承継や従業員等の資質 向上を目的とした講習会を開催。 小規模事業者の経営課題解決を目的 に、専門家による個別並びに定例相 談を随時開催する。	の講習会 ・3回開催 受講者数 122人 (内経営革新1回 5人)		指標	集団講習会参加者数			指標	(達成度 79 %)		·参加者数	理士や社会保険労務士等 の個別講習会により、中			-	自己評価	重	満足度	補足	目標	集団講習会は、第の要望も強く実	<b>業</b>
講習会等			1 15 1# <del></del> 1# <del></del> -		(達成度	達成度 102 %)					%)	小企業・小規模事業所全	合		事実業施	Α	調業査会	Α		両方現状維持	施予定。	
神自五守   				目標	400	実績 数値 122		目標	<sub>621</sub> 実績		清 400	体の技術力向上、経営基盤の強化が図られた。	評価		評側価の	目標達成度	結って   果の	必要性		実施方法	金融、税務等の低別相談も前年度近り実施予定。	
				数値	120			数値	631	大根   496   数値			В			Α		1	両方現行どおり			
消費税軽減税率対策窓口相談等事業	中小、小規模事業者等の消費税 法改正に伴う軽減税率対策及び トキャッシュレス決済への対応の なめ、セミナー等を関係する	.5回		16.17	 集団講習	└─── <b>│</b> 習会開催回数	数	- I				消費税軽減税率制度の導入に伴い対応が必要とされる小規模事	- 1			自己評価	重	 満足度	補足	目標	小規模事業者が必	<u>ک</u>
			小規模事業者	指標	(達成度	125 %)	Ŧi	指標	(達成度 %)		%)	業者の事業活動を円滑に支援し 一」つつ適正に消費税を転嫁できる	合		事実 業施	Α	調業	Α			要とするセミナー、講習会を開	
	ため、セミナー寺を開催する他、制度の周知に関する事業を実施する。		小风快争未日   	目標	4	実績	5 E	目標		実約	責	ようセミナー等開催することにより理解を深めることができ	三 評 価		評側価の	目標達成度	登結への	必要性		実施方法	催。	
		経営指導員と弁護士、中小		数値		数值		数値		数值		た。 経営課題解決対応への乏し				Α	"	Α		廃止する	前年度に引き続	
経営安定特別相談	経営危機を未然に防止する ため、再生見込みのあるもの は回避策を、見込のない場 合は円滑な整理を図ること を目的に特別相談事業を実	企業診断士、税理士等が連	小規模事業者	指標	個別指導事業者数 信標 (達成度 0 %)		: 計	指標	(達成度 %)			い小規模事業者に対し、専門家の支援体制を整備した	<u> </u>		事実業施評側	自己評価	事	満足度	補足	目標	き、専門家並びに	
							_				%) T	■ ものの、景気拡大を受けて ・ 金融機関の積極的な貸付姿	合	В			査業 益者	Α	-	現状維持	行政や金融機関と 一連携を密にし、名	<b>子</b>
				目標 数値		実績 数値		目標的		実約数値		勢や弁護士会独自の支援制 度もあって当所への相談は	一個		価の	目標達成度	果の	必要性	-	実施方法	種施策を積極的に 展開する。	5
	施する。 地域中小企業に携わる若手、	青年部		双胆		<b>双</b> 但	3.			33.11		無かった。 若手後継者や女性経営者		_	<u> </u>	D		Α		現行どおり		<u>+</u>
	女性経営者及び後継者の自己研鑚、啓発事業を通して経営者としての資質並びに経営能力の向上を図る。	・全国大会1回、会長研修会1回、 東海ブロック大会1回、 YEGDAY(愛知県連)1回、 研修事業4回(内女性会との 共同事業1回)、交流事業2回、 地域活性化事業(産業フェスタ2019) 1回 ・計10回 女性会 女性の社会進出向上のため 若手女性経営者の入会を促進。 ・全国大び修事業中止、 研修事業1回(内青年部との 合同事業1回) 地域活性化事業(産業フェスタ2019) 1回	小規模事業者	指標	青年部開催回数				女性会開催回数 (達成度 75 %)		催回数	に対し、研鑚事業等を計 画的かつ積極的に実施し	-		事実	自己評価	-	満足度	補足	目標	若手後継者や女性 経営者向けの研修 会、講習会を開催	多
							排	指標				たことにより、経営者と									云、啼目云を    し、さらなる資質  向上を目指す。	
	在呂能力の向上を凶る。				(達成度	度 100 %)					5 %)	しての能力向上が図れ た。	総			А		Α		両方現状維持		
若手後継者等 育成事業					1	<del> </del>			<u> </u>		1	_	総合評	А	業施評側		調査者 4		=			
(青年部・女性会)				目標 数値									一備		価の	目標達成度	果の	必要性		実施方法		
					10	実績 数値	0 E	目標 数値	4 実		実績 3											
							,		_		-					В		Α		  両方現行どおり		
	地域振興事業を実施し、地域内外へ	「とよた産業フェスタ2019」の開催					_					産業フェスタは、市内の産業	:								「とよた産業フェ	
	のPR及び商取引向上の場を提供することにより、豊田市全域の活性化	8月24日(土)25日(日) ・出店者数 180社			産業フェ	産業フェスタ来場者数			ビジネスフェア来場者数		ア来場者数	に関わる企業の事業紹介	٠			  自己評価		満足度	補足	目標	「とよた産業フェ  スタ2020」は、  2020年10月に開催	
	に寄与する。中小企業、小規模事業者の「ものづくり」の本拠地として存続していく上で技術力の強化と高度な人材育成、自動車に次ぐ産業の育成も含めた産業振興策を推進する。市内小規模事業者が生産・販売している豊田らしさのある食品加工等をwebサイトにて紹介・販売し、販	「第11回とよたt** ジ ネスフェア」の開催 (2020年3月:中止) 「豊田おいでんまつり」への協力 「とよたイノペーションセンター」の活用促進・ものづくり人材育成・経営相談等 145社 「豊田ものづくりブランド」制度の積極的運用・申請 8件 認定 4件 「WE LOVE とよた マルシェ」		指標			±	指標				い、市内外へのPR、販路								予定。	予定。 「第11回とよたビ	
					/ <del>/+ -15 -1-</del>			日1示	(達成度 0 %)			拡大の支援ができた。				_					ジネスフェアは、2021年3日開催予	
					(達成度 95 %)						%)	とよたビジネスフェア は、製造業を中心に製	総合		事実	В	事 調業	Α		両方現状維持		
地域振興事業							$\dashv$	$\dashv$				──品·技術の展示商談会を 開催することで豊田市産	. 評	В	業施評側		調査結果		1			
				目標数値							実績 数値	業の活性化を図る目的で あったが、新型コロナウ	:   100		価の	目標達成度	<sup>木</sup> の	必要性	I	実施方法		
					120, 000	実績 数値 114,	000 E	目標 数値	5, 000	実統数値		イルスの感染拡大を受け、連携機関である豊田							-			
		特度品展」を開催 2019プレミアム付商品券事業 ・発行事業 5億		-× 11=		**************************************	*	II	数			市と協議のうえ、開催中				С		А		  両方現行どおり	) 	
		・取扱加盟店 842店										止とした。										

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 豊田商工会議所

市坐力	事業概節 / 北昇 口 45 \	<b>市</b>	主たる	事業評価																
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者	目 標①				目:	標②	得られた効果	ABC	D評価	ī.		今後の展開・改善点等		備考			
		部会事業を円滑に運営するため経営 指導員等が事務局を担う。 ・役員会 16回 ・視察研修会 5回 ・講演会・研修会 3回 ・10部会合同セミナー 0回	小規模事業者	指標	開	催回数 94 %)	指標	(達成度	%)	各部会事業は、諸施策の 概要情報の提供や視察研 修等の実施により、会員 相互の情報交換提供、交 流の場が図れた。			事実	自己評価 B	調査結事業者	満足度 A	補足	目標 現状維持	部会員の研鑚と交流を深めるため、 研修会、視察会等 を開催予定。 部会活動を通じ	
部会事業		異業種合同事業 11回 同業者団体事業 9回	を含む全会員	目標 数値	47	実績 44 数値 44	目標数値		実績数値	mess and Energy	一個		評側価の	目標達成度	量結果 の ・	必要性		実施方法現行どおり	- て、行政へ各種施 策等の提言を行っ ていく予定。 -	
労働保険 · 福利厚生事業	をサポート、雇用保険の届出事務や 労災保険についての申請、届出、報 告に関する事務手続きについて支援 する。 小規模事業者の事業主、従業員の福 利厚生のための健康診断事業(上郷 鉄工会との共催)を実施。	労働保険指導事業所数 ・551事業所 810事業場		指標	 指導	——————— 事業所数	指標	一人親方	<i></i> 労災委託件数	小規模事業者に対し、労 働保険(労災・雇用)制			事実業施	自己評価	<u></u> 事	満足度	補足	目標	小規模事業者等を対象に健康診断は	
		一人親方労災保険 ・委託件数 149件	   小規模事業者		(達成度	98 %)	10 1/2	(達成度	99 %)	度の周知を図るととも 一に、事務処理等を支援す	総合	Α		Α	調業者	Α		両方現状維持	例年どおり実施予定。	
		健康診断 ・61事業所 344名		目標 数値		実績 数値 551	目標数値	150	実績 数値	ることによって企業経営 をサポートした。	価		評側価の	目標達成度 B	果の	必要性 A		夫他力法 方労災保障 市大現行 じかい に努めて	労働保険と一人親 方労災保険のPR に努めて委託数の 増加を図る。	
エコアクション2 地域事務局	環境への取り組みが企業経営に積極的に求められている現状を踏まえ、ISOに比べて認証登録費用、コンサルタント費用が安価であるため、小規模事業者も環境への取り組みが出来る認証・登録制度。エコアクション21の認証を取得することにより、取引先の信頼を得、自社のコスト削減と併せて企業経営の付加価値を高めることができる。	置して、判定委員5名と連携 して認証取得を支援。 ・判定委員会 ・認証取得研修会 ・環境経営相談 ・認証取得支援セミナー ・新規認証・登録事業者数 12事業者		指標		新規登録事業者数 指標	/****	0()	地域内外の中小・小規模事業者等に環境経営マネジメントシステムの導入			事実	自己評価	画事	満足度	補足	目標	企業のコスト削減と付加価値を高める環境経営マネジ	)	
			中小企業· 小規模事業者		(達成度		_ <del>_</del>	(達成度	%) /	並びに申請手続き等の支援を行い、環境に対する 企業経営のサポートが実施できた。	合	В	業 協	B 目標達成度	調査結果の	A  必要性			│メントシステムを −推進する。 │	
				目標 数値	20	実績 12 数値 12	目標 数値		実績 数値	他できた。	Щ		IIII o	С		А		現行どおり		
OB人材マッチング 事業	企業OB(アドバイザー) の持つ優れた経験値をしっ かりと次世代へバトンタリチして行くため、経営指導 員が中心となり中小企業・ 小規模事業者に対し積極的 にPRを図っていく。	豊富な実践経験を持つ企業等の 〇Bが中小企業・小規模事業者 に対し技術力の向上、技術開 発、営業販売、生産管理等広範 多岐にわたり課題解決に向けア ドバイスを行う。 ・相談・指導件数 5件		指標		巡回件数	指標	/\+_E_+		地域内外の中小・小規模事業者 等に対し、豊富な実践経験を有 している企業等のOBが技術力	ī 」総		事実	自己評価	事	満足度	補足	目標	引き続き企業ニーズに合致したセミナーの開催や「と	:
			中小企業· 小規模事業者	 目標 数値	(達成度	8     %)       実績     5	目標数値	(達成度	%) 実績 数値	の向上や技術開発等多岐にわたり支援を行なってきたが、同じような支援機関もあり、相談・ 指導件数も減少。	合評価	В	業施 評側 価の	日標達成度 D	査結果の	A 必要性 A		現状維持実施方法現行どおり	テーの開催や「と -よたビジネスフェ ア」への出展によ -りPR活動を展開し ていく。	<u>:</u>
	新規創業や第二創業に向け事業計画 の策定や融資書類の作成指導等細部 にわたり伴走支援を展開している。 創業に係る様々な課題に対応すべく 専門家や行政、金融機関との情報交 換、連携を緊密に図り、情報提供や 啓発活動をするためのセミナーを開 催する。	スタッフ配置による創業支援体制の充実。 ・相談件数 574件 ・新規相談者数 93人 ・創業計画の策定 33件 ・起業集中講座 1回 (3日間、10名参加)	小規模事業者	指標	相談件数		指標	新規相談者数 指標		創業予定者に対し、経営 のノウハウや様々な開業 準備へのアドバイスを行			<b>+</b>	自己評価		満足度	補足	目標	■ 世間では、 豊田市や金融機関 ■ との連携、協力に 」より、効果的な創	-
創業サポート センター事業					(達成度	287 %)	$\frac{1}{1}$	(達成度 93 %)	い、開業に向け、円滑な 支援につなげることがで	合評	А	事実業施評側	口描法代告	調査者に	A .v.m.tr		両方現状維持  実施方法	まり、効果的な原 業塾等のセミナー を開催予定。	-	
				目標 数値		実績 数値 574	目標 数値		実績 数値 数値	きた。	価		価の	日保廷风及 A	果の	必要性 A		両方現行どおり	_	
	支援として各種検定試験等の説明、	簿記3回、販売士2回、珠算3回、カラーコーディネーター2回、ビジネス実務法務2回、福祉住環境コーディネーター2回、eco2回計16回	l l A sile	指標目標		催回数	指標	(法武庫 0/)		各種検定事業を実施し、人材育成の一環として、労働	総		事実	自己評価	事業	満足度	補足	目標	小規模事業者等の経営 者・従業員他を対象に 各種検定事業を実施す	
各種検定等 支援事業			│ 中小企業・ │ 小規模事業者		(達成度	実績 16	目標	(達成度	実績 /	者の資質向上を目指すこと により、中小・小規模事業 者等の支援をすることがで		Α	業施評側価の	日標達成度	査結への	必要性		現状維持 実施方法	ることで中小・小規模 事業者等の人材育成を	į
				数値	=	数値 10 発行部数	数值		数值	きた。 有益な補助金制度や各種セ	/ш //\		1	A	<b>一</b> の	A 満足度	補足	現行どおり 目標	支援していく。 会報誌を通じて中小・	
会報の発行事業	業・諸施策について、経営 情報の乏しい中小企業者・	発行。 • 会報発行部数 6,300部	中小企業· 小規模事業者	指標 目標	(達成度	成度 100 %) 指標	指標 目標	(達成度 %)		ミナーの開催等の情報を提供することにより、中小・小 規模事業者等の企業経営の	合	А	事実業施証側	<b>-</b>	調査結果の	A 必要性	11137	現状維持実施方法	- 小規模事業者等の経営 _ 改善に資する情報を提 _ 供し、伴走型支援を実	1
	小規模事業者に最新の情報 を発信する。 当地区内の中小企業者の景気状況を	毎日150車業所を対象に 売上,什		数値	0, 300	数值 0,300	数値		実績 数値	活力向上に寄与できた。 景気実感調査やL0B0調査	価		価の	Α	果の	Α		現行どおり	-施していく。 調査事業を通じて	<u> </u>
祖本 - 广起東学	把握し、以後の施策や指導に役立てる。早期景気観測調査を依頼及び回収し、現状の景況を把握。 回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果	入・業況・資金繰り等の現在の状況 と今後の見通し、経営課題や現在の 問題点について調査を実施。 ・LOBO調査対象企業数 188件 豊田信用金庫と連携して景気実感調	中小企業・ 小規模事業者	指標		O調査対象企業数 指標 度 125 %)				を中小・小規模事業者等 を対象に実施することに	総合	_	事実業施評側	自己評価 A	─調事 調業 査者	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	調査事業を通じて 」得られた情報をも とに、中小・小規 模事業者等の活力	
制査・広報事業				目標 数値			実績 数値 240	──より、企業の景況感並び にニーズを把握すること ができた。	■重	A	日煙達成度	必要性 A				実施方法	向上につながる施 - 策を展開してい			
		税務署と連携し、青色申告会会員事 業者に対しての税務に関する情報発		₩.Jæ	指導件数		4F. 137	事業開催回数		e — t a × の普及促進を 図るとともに税務(特に				自己評価		満足度	補足	豊田税系 足 目標 士会豊田	豊田税務署や東海税理士会豊田支部との連	
 	使内青色申告会(5支部)の 運営を支援。	信や講習会等の実施を支援する。 ・税務講習会 4回 ・税務署長との懇談会 1回	       小規模事業者		(達成度	97 %)	指標	(達成度 100 %)		消費税改正)に関する研修会を開催し、中小企	総合	A	事実業施	А	事業者	А		両方下げる	- 携、協力を図り健全な 納税の推進を図るとと もに消費税改正に伴う 中小・小規模事業者等	
再巴甲古宏事集   		・確定申告のPR     1回       ・会報発行     2回       計     8回       ・会員指導件数     604件			620	実績 数値 604	目標数値		実績 数値 8	ま、特に小規模事業者に 対し周知徹底が図れた。	評   価 		評側価の	目標達成度 B	i 果の	必要性		実施方法 現行どおり	中小・小規模事業有等の事務負担軽減に資す 」る事業展開を図る。	
青色申告会事業	ともに必要な諸施策を検討し、効果 的かつ効率的な指導に繋げる。 青色申告の普及と正しい納 税指導を目的に豊田税務署 管内青色申告会(5支部)の	豊田信用金庫と連携して景気実感調査を実施。 ・景気実感調査件数 240件 税務署と連携し、青色申告会会員事業者に対しての税務に関する情報発信や講習会等の実施を支援する。・税務講習会 4回・税務署長との懇談会 1回・確定申告のPR 1回・会報発行 2回 8回	小規模事業者	目標 数 指標 目標	指(達成度	数値	数値 指標 目標	事業(達成度	数値 開催回数 100 %) 実績	にニーズを把握することができた。  eーtaxの普及促進を図るとともに税務(特に消費税改正)に関する研修会を開催し、中小企業、特に小規模事業者に	価 総合評	A	事実施評側	A自己評価 A 目標達成度	結果 調査結果 コースの 事業者への	A 満足度 A	補足	両方現行どおり 目標 両方下げる 実施方法	向策く 豊士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がて 東海の健立に業権の 現るい 税連全と伴者資 理 なとう等す

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。